

やまぶきホール特別上映会

六つの顔

出演・監修
野村万作
野村萬齋

野村万作
野村萬齋 野村裕基
三藤なつ葉 深田博治 高野和憲

六つの顔

SIX FACES:
KYOGEN, A LIFE ON STAGE

ナレーション：オダギリジョー
監督・脚本：犬童一心
題字：アヌーシヨシ・山村浩一 音楽：上野耕路
監修：野村万作 野村萬齋
製作万作の会 企画制作野村孝子 小俣美登里 清水薫 小田智美
プロデューサー 丸山清博 林孝彦
撮影 高井孝洋 照明 正田ヨシタケ 編集 辻田恵美
サウンドデザイン 渡瀬 音響 幼来 柳原さくら
制作 アロウエン・エンターテインメント 配給 エルム・エンターテインメント

狂言の道を歩んで、九十年

人間国宝・野村万作が人生をかけて到達した芸の境地



夫婦愛を描く珠玉の狂言「川上」を
舞台裏とともに贅沢に収めた至高の80分

94歳にして現役。人間国宝・野村万作の芸境に迫る至高のドキュメンタリー
狂言を生きる万作の顔に浮かびあがる「六つの顔」

2026年3月21日(土)

【上映時間】10:30(10:00開場)

【会場】川上総合センターやまぶきホール
(奈良県吉野郡川上村大字迫1374-2)

【料金】一般:500円/18歳以下無料 全席自由席

【申込】右の二次元コードまたは電話でのお申込み

【定員】300名



お申し込み
二次元コード

お問合せ・お申込み 川上村教育委員会 TEL:0746-52-0144

94歳にして現役。人間国宝・野村万作の芸境に迫る至高のドキュメンタリー 狂言を生きる万作の過去に浮かびあがる「六つの顔」



監督 **犬童一心** × 出演・監修 **野村万作・野村萬齋** × アニメーション『頭山』 **山村浩二** × ナレーション **オダギリジョー**

監督は「ジョゼと虎と魚たち」、「のぼうの城」などを手掛け、田中浪を追ったドキュメンタリー「名付けようのない踊り」でも高い評価を受ける犬童一心。また、万作が過去を振り返るなかで、心に浮かぶ「六つの顔」を『頭山』で米アカデミー賞にノミネートされた山村浩二がアニメーションで表現。ナレーションを俳優のオダギリジョーが務めるなど日本映画界を代表する製作陣が集結。監修は野村万作、野村萬齋が手掛けた。モノクロームで映し出される「現在」、アニメーションで紡がれる「過去」、そしてカラーで立ち現れる狂言「川上」の研ぎ澄まされた美しさ。豊かな映像表現で織りなす、至高のドキュメンタリー映画が誕生した。

六五〇年以上にわたり、生きとし生ける者の喜怒哀楽を表現し、人々の心を魅了し続けてきた「狂言」。その第一人者であり、九十四歳の今もお現役で舞台に立ち続ける人間国宝の狂言師・野村万作は、二〇二三年に文化勲章を受章した。映画「六つの顔」では、受章記念公演が行われた特別な一日に寄り添いながら、万作の歩んできた軌跡と現在の姿を浮かびあがらせる。また、ライフワークとして取り組み、磨き上げてきた夫婦愛を描く珠玉の狂言「川上」を物語の舞台である奈良・川上村の荘厳な原風景とあわせて贅沢に収録。万作が長年追求してきた世界観をその至芸とともにスクリーンに刻む。さらには、九十年を超える芸歴のなかで先達たちから受け取り繋いできた想いや、今なお高みを目指して芸を追求し続ける万作の言葉を取めたインタビューも交え、息子・野村萬齋や孫・野村裕基をはじめとする次世代の狂言師と共に舞台上に立つ模様を臨場感溢れる映像で映し出す。



SIX FACES:
KYOGEN, A LIFE ON STAGE



◀公式サイト
© 2025 万作の会

狂言『川上』とは
盲目の男が、願いを叶えてくれるという「川上」の地蔵に参詣し、その甲斐あって視力を得る。しかし、男の夢に現れた地蔵は視力と引き換えに「妻と離別せよ」という過酷なお告げを残していたのだった。視力か、尽くしてくれた妻か——、男は究極の選択を迫られる。和泉流のみに伝承されるこの演目は、笑いを本旨とする狂言においてはシリアスな異色作。夫婦愛と宿命を深く問う物語は、現代に通じるテーマをはらむ。

お問い合わせ・お申込み 川上村教育委員会 TEL:0746-52-0144